

**第16回フレンドリーカップバスケットボール大会**  
**会 場：淡路市立一宮いざなぎアリーナ・淡路市立津名中学校**  
 平成25年11月10日

一般チーム

A ブロック						戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得 点	チーム名	審 判	
A-2		ビッグママ	22 $\left( \begin{array}{c} 5 - 5 \\ 2 - 0 \\ 9 - 4 \\ 6 - 3 \end{array} \right)$ 12	西播磨ドリームA	藤原 伸一 平尾 英子	第1ピリオド、両チーム共詰めが甘くシュートが決まらず一進一退の展開。 第2ピリオド、未だペースを掴めないままの両チーム。気迫あふれたディフェンスの応酬に互いに攻めあぐむ。 第3ピリオド疲れの見え始めた西播磨ドリームAに対し、ビッグママは速い攻撃でリズムを掴む。 第4ピリオド、西播磨ドリームA#16三村のファイト満々たるプレーで反撃するも、手堅いプレーで一枚上のビッグママが振り切った。
B-2		Funnyゴールド	25 $\left( \begin{array}{c} 3 - 8 \\ 8 - 3 \\ 3 - 5 \\ 11 - 11 \end{array} \right)$ 27	TMC	西 俊則 袖田 厚嗣	第1ピリオド両チーム共2-1-2のゾーンで始まり、3分間程均衡するがTMCが速攻をきっかけに点を重ねる。 第2ピリオドFunnyゴールドの3Pシュートが続いて入りペースを掴み同点に追いつく。 第3ピリオド両チーム共シュートチャンスはあるが決めきれず、ロースコアで試合が進むが終了間際TMCが3Pシュートを決める。 第4ピリオドTMCがドライブインやリバウンドシュートで突き放しにかかるが、Funnyゴールドも3Pシュート等で追いつき同点とするが残り0.4秒でTMCがポイントをあげ勝利。
A-5		TMC	20 $\left( \begin{array}{c} 5 - 9 \\ 4 - 14 \\ 6 - 10 \\ 5 - 8 \end{array} \right)$ 41	ビッグママ'S	藤原 伸一 中平 陽子	第1ピリオドでは、ビッグママがハーフコートでの粘り強いディフェンスからリズムを掴みTMCのゾーンを崩してシュートを決める。 第2ピリオドでは、TMCのパスミスからビッグママの速攻が得点につながりビッグママの押し気味の試合運びとなった。 第3ピリオド、第4ピリオドの後半戦でもビッグママが速攻と遅攻を使い分け主導権を握るゲーム展開であった。
B-5		西播磨ドリームA	30 $\left( \begin{array}{c} 5 - 7 \\ 7 - 2 \\ 6 - 12 \\ 12 - 7 \end{array} \right)$ 28	Funnyゴールド	西 俊則 袖田 厚嗣	前半は一進一退の攻防。第二ピリオドで西播磨ドリームAが粘り強いリバウンドから少しずつ追い上げ逆転して前半を終える。 第3ピリオドでFunnyゴールドのアウトサイドシュートが決まり始め点差を離すも第四ピリオドではお互いに攻めあぐみ最後まで一進一退の展開となる。最後にアウトサイドシュートを決めた西播磨ドリームAに軍配が上がった。

B ブロック						戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-3		エンドレス	44 $\left( \begin{array}{l} 11 - 3 \\ 11 - 4 \\ 12 - 6 \\ 10 - 5 \end{array} \right)$ 18	リトルパンダ	山本 稔 寺口 温子	第1ピリオド、リトルパンダの#15の3Pシュートで始まる。エンドレスは#4を使ったセットプレーと#9、#5の3Pシュートがかみ合い得点を重ねていく。第2ピリオドはリバウンドを制しているエンドレスがリズムを掴みリードする。リトルパンダも#17のシュートが決まるも終始エンドレスリードで前半が終わる。第3ピリオド、両チーム共ディフェンスを強化し互角の戦いとなる。第4ピリオド、リトルパンダも#5の3Pシュートと#17のシュートで追い上げるもエンドレスの固いディフェンスの前にオフェンスのリズムが取れないままエンドレスの勝利となる。
B-3		ラウンド	22 $\left( \begin{array}{l} 2 - 10 \\ 7 - 0 \\ 2 - 4 \\ 11 - 7 \end{array} \right)$ 21	芦屋シーサイド	西川 知佐子	第1ピリオド芦屋シーサイドのポストプレー、ミドルシュートがたて続けに決まり先手を取る。第2ピリオドには、ラウンドペースで追い上げ互角の戦いでハーフタイムとなる。第3ピリオド、一進一退の中互いに決定打に欠ける。第4ピリオドになりお互いシュートが決まり始め1点を争う白熱した戦いの中ラウンドが1点差で勝利となる。
A-6		芦屋シーサイド	17 $\left( \begin{array}{l} 7 - 9 \\ 1 - 10 \\ 2 - 8 \\ 7 - 8 \end{array} \right)$ 35	エンドレス	吉田 明子 呉 恭子	第1ピリオド立ち上がりはお互い譲ることなく流れの早いピリオドとなりました。第2ピリオド前半、エンドレスの連続得点で始まり、芦屋シーサイドも善戦するもエンドレスが得点を重ねる。第3ピリオド、エンドレスのカットインが連続で決まり、エンドレスペースで試合が流れる。第4ピリオド開始、シーサイドの得点で始まるもエンドレスの勢いが止まることなくエンドレスの勝利となりました。
B-6		リトルパンダ	42 $\left( \begin{array}{l} 11 - 9 \\ 9 - 7 \\ 15 - 7 \\ 7 - 14 \end{array} \right)$ 37	ラウンド	姜 弘子 山本 稔	第1ピリオド、リトルパンダ#17を中心の攻撃で点を重ねる。一方ラウンドは気迫あふれるカットインで互角の戦い。第2ピリオド、リトルパンダの連続ポイントで点差が開くがラウンド#18の外角シュートが連続で決まり点差を縮めるもリトルパンダの3Pシュートで突き放す。第4ピリオド、ラウンドのミドルシュートで追い上げるもリトルパンダが逃げ切った。

Cブロック						戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-1		Hime G!	30 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 3 \\ 7 - 8 \\ 6 - 8 \\ 11 - 3 \end{array} \right]$ 22	桜香クラブ	能田 浩三 河嶋 博子	両者とも厳しいマンツーマンディフェンスによりお互いにファールも増え攻めあぐむ中、 Hime G!#18丸尾を中心に得点を重ね、前半Hime G! 2点リードで折り返す。 後半も両者共厳しく粘り強いディフェンスの中、気迫溢れた攻撃の中残り40秒でHime G!#18丸尾の3Pシュートで試合を決めた。
B-1		西神ママドル	12 $\left[ \begin{array}{l} 2 - 11 \\ 6 - 11 \\ 0 - 8 \\ 4 - 7 \end{array} \right]$ 37	アゲインズ	中尾 日鶴 大塚 弥寿子	序盤から激しい攻防が続く中ターンオーバーが目立つ、その中で3Pシュートなどをアゲインズが得点を重ねて前半終了。 前半の勢いのままアゲインズが主導権を握る。第4ピリオド、西神ママドルはパスカット、リバウンドを頑張り食らいつくが、得点に結びつかず、アゲインズ勝利。
A-4		CZ倶楽部	18 $\left[ \begin{array}{l} 7 - 25 \\ 3 - 14 \\ 5 - 14 \\ 3 - 27 \end{array} \right]$ 80	Hime G!	増井 律子 東泉 あけみ	Hime G!、CZ倶楽部共にマンツーマンディフェンス。第2ピリオドHime G!は華麗なパス回しから合わせプレイ、3P、速攻など多彩な攻撃を見せ自力を発揮する。対するCZ倶楽部は#6のドライブを中心に攻めるも、今一つ決め手に欠け大きくリードされ前半終了。後半に入っても積極的なディフェンスをするHime G!に対し、ミスが重なりリズムを掴めないCZ倶楽部。終始Hime G!のペースで80-18試合終了となった。
B-4		桜香クラブ	40 $\left[ \begin{array}{l} 10 - 2 \\ 9 - 2 \\ 10 - 2 \\ 11 - 0 \end{array} \right]$ 6	西神ママドル	姜 弘子 橋本 恵	桜花クラブ#18河嶋のゴール下シュートで先制。その後もインサイドを利用した速いパス回しから#18河嶋につなぎ得点を重ねる。一方西神ママドルは桜花クラブの粘り強いディフェンスに攻めあぐむ。第3ピリオドは、西神ママドルはゾーンディフェンスに変更しインサイドの攻撃を阻止するも桜花#6の連続3Pシュートなど外角からのシュートを決められ得点差を詰めることが出来ない。第4ピリオドは桜花クラブのスティールからの速攻で得点を重ね終始、桜花クラブのペースで終了した。
A-7		アゲインズ	39 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 2 \\ 10 - 5 \\ 11 - 5 \\ 12 - 0 \end{array} \right]$ 12	CZ倶楽部	福本 多江 三村 慶子	第1ピリオドCZ倶楽部のファールから2スローにて試合開始。その後両チームファール数は増すが得点数にはつながらず苦戦。第2ピリオドアゲインズのキレのあるパス回しでまずは2点、しかし互いにリズムを掴めずミスプレーが続く。第3ピリオド、前半戦とは一転しアゲインズのスピードあるプレーにて得点を重ねていく。一方CZ倶楽部はせっきくのチャンスを生かすことが出来ず厳しい試合運びとなる。最終ピリオドCZ倶楽部の粘りあるディフェンスにアゲインズは流れを掴めず突き放す程の得点には結びつかなかったが、勝利を導いた。

第 16回フレンドリーカップバスケットボール大会  
会 場：淡路市立一宮いざなぎアリーナ・淡路市立津名中学校

シニアチーム

平成25年11月10日(日)

Aコート						戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得 点	チーム名	審 判	
C-2		Funny	4 - 3 0 - 4 2 - 8 7 - 8	43 桜香コミック	矢野 康治 馬場 陽子	Funny#10のシュートでゲームが始まる。桜香はインサイドを上手く使い、得点を重ね、相手のパスミスからのターンオーバーで波に乗る。反撃を試みるも上手くかみ合わず、桜香リードで前半を終える。後半に入っても桜香のペースで着実に得点し、Funnyは打つ手がなく意気消沈。何とかリズムを作ろうとするも、地力に勝る桜香コミックスが圧勝。
D-2		エンドレスローズ	14 - 4 9 - 7 13 - 10 9 - 0	21 CZ&purple	吉賀 章子 後藤 みちる	両者2-3ゾーンで始まり、CZ&PURPLE#5のシュートが決まる。5分エンドレスローズの速攻からリズムができ加点につながる。第2ピリオド両者攻防続くが点につながらず残り3分エンドレスローズ#6のインサイドプレー、CZ&PURPLE#14のミドルシュートで気迫あふれるゲームとなる。第3ピリオドCZ&PURPLEの連続得点で意気高揚、ディフェンスも厳しくなるがエンドレスローズ#18の落ち着いたシュートでかわす。第4ピリオド闘志あふれるプレイでファール、ヘルドボールが多発、エンドレスローズが逃げ切った。
C-3		ビッグママ'S	1 - 14 4 - 10 2 - 12 9 - 7	43 WINK	服部 照 重近 世都子	第1ピリオド両チームともにゾーンで始め、Winkのパス回しにファールを誘い得点する。14-1で終わる。第2ピリオドは両チーム得点が入らずスロープレイでWinkが先に得点をする。前半24-5でWinkがリードする。第3ピリオドも共にゾーンで始まる。ビッグママがWinkの高さに苦戦する。第4ピリオドは確実に得点をするWinkに食い下がるビッグママS攻めあがり、43-16でWinkが勝利。
C-5		桜香コミック	7 - 2 12 - 2 8 - 6 13 - 0	10 ビッグママ'S	吉賀 章子 矢野 康治	第1ピリオドはビッグママSのファウルが多く進んだ。第2ピリオドになり、どちらも外からのシュートが入りだす。第3ピリオドはビッグママのリズムとなりリードする場面もあった。ラストの第4ピリオドは高さに優る桜香のディフェンスにシュートまでいくものの決められず、ビッグママは得点することが出来なかった。
D-5		CZ&purple	6 - 2 4 - 4 4 - 6 0 - 10	22 Funny	清水 ともこ 市川 美貴子	第1ピリオド残り2分までは互角の攻防で、シュートも中々決まらなかったが、CZ & purpleの#4三安#5上堂園の得点で点差がついた。第2ピリオドでも残り3分までは互角の攻防で得点は無かったが、お互い相手ドリブルミスからの速攻とミドルシュートで得点した。第3ピリオドはFunnyがセットプレイから#15の得点で点差が縮まった。第4ピリオド開始すぐにFunnyが追いつき、波に乗ってディフェンスでも相手のミスを誘い、得点を重ねて逃げ切った。
C-6		WINK	5 - 8 6 - 8 5 - 4 13 - 7	27 エンドレスローズ	吉川 留美 高原 亜理紗	第1ピリオド立ち上がりはWINKがリードしていたが、エンドレスローズが徐々に波にのり、次々とシュートを決めて優位にたつ。第2ピリオドに入ってもその勢いは衰えず得点を重ねる。第3ピリオドにはリバウンド力のあるWINKがボールを保持するも、エンドレスローズのディフェンスは堅くシュートが思うように決まらない。第4ピリオド両チームが最後の力を振り絞り一進一退互角の戦いを見せる。残り7秒でWINKが逆転、勝利をおさめた。

**第16回フレンドリーカップバスケットボール大会**  
**会 場：淡路市立一宮いざなぎアリーナ・淡路市立津名中学校**

ゴールデンシニア

平成25年11月10日(日)

Aコート						戦評
コート 順序	ゲーム	チーム名	得 点	チーム名	審 判	
C-1		西播磨ドリームB	33 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 8 \\ 11 - 5 \\ 4 - 5 \\ 12 - 9 \end{array} \right]$	27 西神ママドルS	福田 祥寛 榎本 昌子	西神ママドルS#21フリースローで先制、お互い積極的にゴールに切れ込み、互角の戦いが続くが、西播磨ドリームB#9の3Pシュートが決まり、4点差で折り返す。後半、西播磨ドリームBのリング下シュートが続けて決まり、リードを広げるが、西神ママドルSもディフェンスを頑張り、立直しを図るが、西播磨ドリームBが押し切った。
D-1		FINE	19 $\left[ \begin{array}{l} 8 - 8 \\ 4 - 4 \\ 0 - 10 \\ 7 - 12 \end{array} \right]$	34 アゲインズPLUS	福松 正数 高原 亜理紗	両チームシュートを打つものなかなか決まらなかったが残り4分で、#17のシュートでアゲインズPLUSが先制した。その後一進一退の攻防が続き第2ピリオド終了した時点で同点の、両者ひかない展開になる。FINEのチェックミスによるテクニカルファールのフリースローより始まりアゲインズPLUS#17が2本決め好スタートをきる。それを皮切りに、アゲインズPLUSが波に乗り、FINEの追い上げを許さず勝利した。
C-4		FINE	22 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 12 \\ 2 - 17 \\ 3 - 14 \\ 11 - 10 \end{array} \right]$	53 西播磨ドリームB	佐藤 ちよみ 永易 佳代子	第1ピリオドはリバウンドを制した西播磨ドリームが速攻から得点を重ね流れをつかむ。第2ピリオドではインサイドを中心にリードを広げた西播磨ドリームが主導権を握って前半を終える。FINEは手堅いディフェンスに攻めあぐみ、第4ピリオドで巻き返しを図るも届かず、西播磨ドリームが勝利する。
D-4		アゲインズPLUS	24 $\left[ \begin{array}{l} 4 - 7 \\ 5 - 6 \\ 4 - 4 \\ 11 - 2 \end{array} \right]$	21 西神ママドルS	福松 正数 渡邊 優子	第1ピリオド西神ママドルSはパス回しでアゲインズPLUSのディフェンスをくずし3点リード。アゲインズPLUSはパスミスがひびいた。第2ピリオドアゲインズPLUS#6の積極的なプレイが目だったが西神ママドルSのスピードあふれるプレイで点差はほぼ変わらず。第3ピリオドアゲインズPLUSのディフェンスが厳しくなる。第4ピリオドも一進一退を繰り返す。残り1分から流れがアゲインズPLUSに変わり、残り30秒逆転して勝利を収める。